

豊前発電所1号機

無事故連続運転 762日を達成

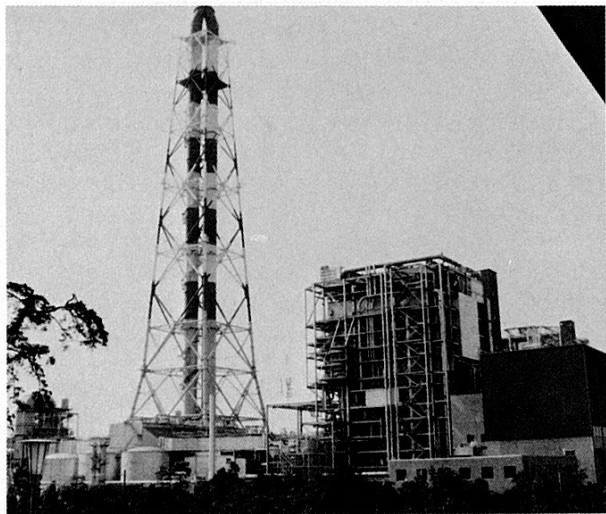
九州電力株式会社豊前発電所1号機が、無事故連続運転762日という画期的な記録を達成したことに伴い、当社は、3月30日、九州電力株式会社豊前発電所から感謝状を受けた。

同発電所1号機(出力50万kw)は、昭和52年12月9日に営業運転を開始(当社は、同機の建設工事において、昭和50年2月から昭和52年12月まで各機器の据付工事に従事し、現在メンテナンス業務を行っている)以後、昭和53年12月8日の第1回定期修繕工事までの365日間無事故連続運転を記録している。今回の記録は、第1回定期修繕工事完了後の昭和54年2月7日から第2回定期修繕工事開

始の昭和56年3月9日までの762日間である。

資源エネルギー庁では、定期修繕の間隔を2年間に引伸ばすとする実証試験のため電力会社中3社からそれぞれ1ユニットを選定し実施した。これに基づいて、九州電力株式会社では運転開始以来1年間好調に連続運転をしていた豊前発電所1号機を選定し実証試験を行ったものである。

この762日無事故連続運転記録の達成は、各機器の信頼性はもちろん関係者の優れた技術力と献身的努力の成果であるとして、九州電力株式会社豊前発電所小林所長から感謝状と記念品が贈られたものである。



無事故連続運転762日を達成した豊前発電所1号機

玄海原子力発電所

2号機運開(3月30日)

九州で第二の原子の灯

九州電力株式会社玄海原子力発電所(佐賀県東松浦郡玄海町大字今村)では、2号機の増設工事を行っていたが、去る3月30日に通産省の完工検査を終え営業運転にはいったため、同社にとって、1号機に次いで第2の原子の灯となった。

1号機に隣接して建てられた2号機は、1号機と同型式、同容量(加圧水型軽水炉、出力55万9千kw)であり、昭和51年6月の本館基礎掘削工事開始から営業運転まで約4年10ヵ月という長い緊張した工事期間であった。これで玄海原子力発電所の総出力は111万8千kwとなり、九州電力株式会社では、新小倉発電所(4基で総出力151万2千kw)に次ぐ第2番目の大容量の発電所となった。

当社は、この増設工事において昭和52年4月に玄海作業所を設置し、その先行工事に当たっていたが、同年11月には玄海建設所と改称し本格的工事体制を整え、三菱重工業株式会社高砂製作所からタービン・発電機据付工事、三菱電機株式会社から電機品据付工事等の二次系全範囲と一次系一部の工事を、また、三菱重工業株式会社神戸造船所から一次系の計装工事をそれぞれ受注し本格的工事を行ってきた。昭和55年5月には

初臨界に達し、徐々に出力をあげ負荷試験を繰り返し、同年6月に初併列以後総合的な試運転が行われ3月30日の営業運転開始に至ったものである。

〔2号機建設のあゆみ概要〕

- 51.1. 原子炉設置許可
- 6. 本館基礎掘削開始
- 52.2. 原子炉基礎工事開始
- 4. 当社玄海作業所設置
- 5. 格納容器建設開始
- 9. タービン建屋立柱

〔本店=5月2日〕当社は、5月1日に創立27周年を迎えたが、この記念行事として永年勤続者(昭和55年5月1日から昭和56年4月30日までの1年間に勤続25年、20年、15年、10年に達した者)に表彰状と記念品が、本店ならびに各所で贈られた。

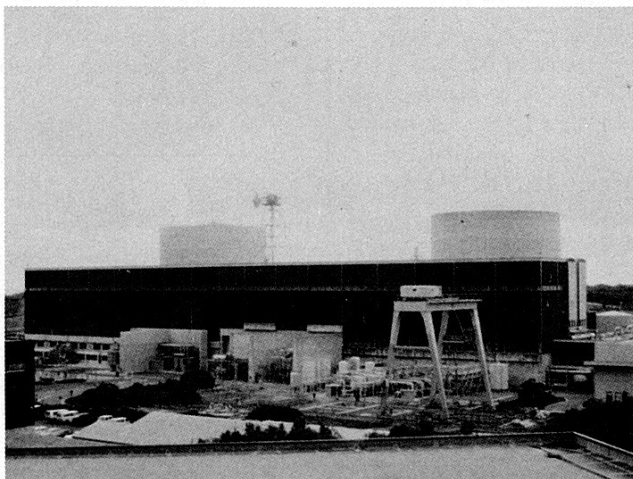
当社は、昭和29年5月1日に、電力事業の一端を担う発電所建設のための会社として発足して以来、現在に至るまでの27年間に、電気事業用発電設備、各種産業設備等の各種プラントの設計、建設及び保守工事、さらには海外の発電設備の工事を行うように大きく成長した。

これはひとえに全従業員の努力の結果といえる。従業員に対してその労をねぎらう意味で、永年勤続表彰を始めたのが昭和44年であり、今回で13回目となった。

今回の表彰では、25年勤続6名、20年勤続29名、15年勤続32名(内女性2名)、10年勤続30名(内女性2名)の総計97名である。また、25年勤続の赤木義範さんと10年勤続の赤木義幸さんとは親子で、15年勤続の西田徹さんと10年勤続の西田真直さんは兄弟でそれぞれ受賞している。

〔永年勤続者氏名〕

- 25年勤続者(6名)
 - 松島=連水武康
 - 本店=迫貞男、赤木義範
 - 北エル=大石宗俊
 - 戸畑=中島英晴
 - 大分=林稔
- 20年勤続者(29名)
 - 本店=土山信行、松本幸生
 - 関西=栗原準
 - 小倉=森亮一
 - 若松=正岡勝
 - 大牟田=江口良道、古賀俊行、清田幹男、松浦忠彦、北島忠、武藤尚人、塩塚邦治、益田寅男
 - 苅田=松尾茂徳、川上武士、樋尾保男
 - 大村(事)=南州任
 - 大村(建)=川崎栄
 - 唐津=渡辺隆、松井弘



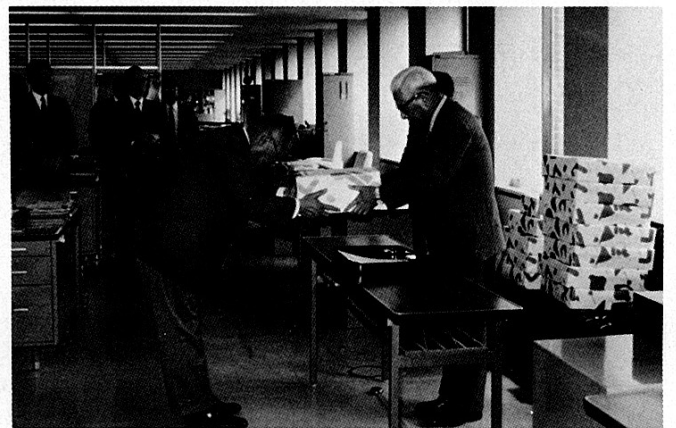
△運開した玄海原子力発電所2号機(左)

《永年勤続表彰》

10年勤続	15年勤続	20年勤続	25年勤続
30名	32名	29名	6名
(内女性2名)	(内女性2名)		

- 大分=塩地黎三、前山紀一郎
- 八丁原=合戸徳義
- 新相浦=本場誠、土井政重
- 川内原子力=石松茂俊、宮原和生
- 戸畑=植野茂美
- 牧港=佐藤哲二
- 15年勤続者(32名)
 - 本店=財部健祐、西田徹、増本憲司、石井博、野上英雄、梅崎豊賢、竹下昌利、藤田但馬、高椋ヤチヨ
 - 小倉=仁科浩
 - 若松=大庭末子

- 苅田=河村辰三、篠崎重正
- 大牟田=坂口稔、林田巧、上田利博、山本巧、唐崎幸市
- 大村(事)=田中利夫、増田勝広
- 唐津=秀島達男、樋口桂造、柳田寿、加茂寅雄、川原秀雄
- 大分=江藤久男
- 川内(事)=西野収
- 玄海=小崎陽
- 工務所=松下正次
- 松島=加藤光次
- 香焼=増田正志
- 川内原子力=上野幸憲
- 10年勤続者(30名)
 - 本店=西山友幸、中川清俊、国分啓二、平嶋裕史、安部典之、赤木義幸、猿渡茂、小田マサヨ
 - 苅田=木下幸恵
 - 大牟田=西田真直、中原敏光
 - 唐津=高崎玉美、横山満敏、竹内一幸
 - 小倉=稲益誠、竹村一馬
 - 大分=工藤光夫、芳野雅貢、川口恒美
 - 大分共火=橋本和夫、安部好美
 - 八丁原=矢野長二、矢野清美、赤峰隆喜
 - 新相浦=井元恒行、大平辰臣
 - 戸畑=安部康秀
 - 玄海=堤正徳、藪内修二
 - 川内原子力=森山憲一



△永年勤続表彰

サウジ・ヤンプ発電造水プラントに 2名派遣

溝口誠也さん(4月8日)
横山岳夫さん(4月24日)

当社は、サウジアラビア王国ヤンプ発電造水プラントに運転及び保守技術アドバイザーとして4月8日、4月24日に2名を派遣した。この派遣は、3月に派遣した岡野さん、塗木さんの両名と同様、三菱重工業株式会社長崎造船所の依頼によるもので、4月8日に保守技術アドバイザーとして溝口誠也さん、4月24日に運転技術アド

バイザーとして横山岳夫さんがそれぞれ現地に向けて出発した。なお、今回出発した溝口、横山両氏と現在現地で業務に励んでいる増田、渡辺(行)、木畑、宮平、原田、岡野の6氏はイラク・ハルサ発電所での業務経験があり、派遣者33名全員の一致協力による活躍が期待されている。



溝口さん



横山さん